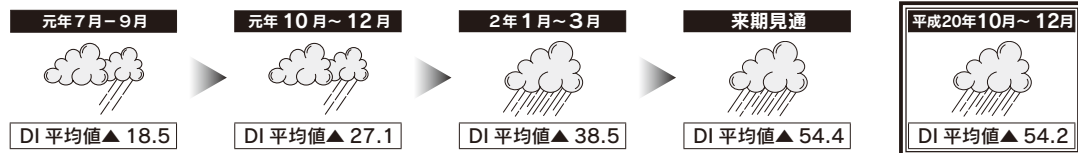


# 県内中小企業(製造業)景況動向

令和2年1月～3月期

業況急下降、来期はリーマンショック時並みの悪化予測

本会調査結果概要



## 業種別景況動向

### 食料品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲19.1	▲26.0	▲65.1	▲58.4

同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲65.1で、両方を合わせたD I 平均値は▲65.1となり「雨」模様になっている。来期見通しは6.7ポイント上昇して▲58.4となるものの「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D I は▲67.4、収益性D I は▲68.5となった。

また、雇用人員判断D I は「不足」「過剰」とともに18.4で0.0、設備操業率D I は▲41.6、設備投資実施率は20.9%となった。

### 繊維・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲48.2	▲34.5	▲34.6	▲38.5

同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲34.6で、両方を合わせたD I 平均値は▲34.6となり「雨」模様が続き続けている。来期見通しは3.9ポイント下降して▲38.5となり「雨」模様が続き見通しになっている。

なお、前期比の売上高D I は▲23.1、収益性D I は▲31.2となった。

また、雇用人員判断D I は12.5、設備操業率D I は▲43.8、設備投資実施率は7.7%となった。

売上高と収益性を合わせたD I 平均値(同期比)については▲38・5となり、前回調査(元年10-12月期)の▲27・1から11・4ポイント下降している。来期見通しにおいては15・9ポイント下降して▲54・4となっている。これは、リーマンショック発生直後(平成20年10-12月期)▲54・2と同程度の水準である。

売上高D I (同期比)については▲36・9となり、前回調査から12・8ポイント下降している。来期見通しにおいては19・9ポイント下降して▲56・8となっている。

収益性D I (同期比)については▲40・0となり、前回調査から9・9ポイント下降している。

ポイント下降している。来期見通しにおいては11・9ポイント下降して▲51・9となっている。

業況D I (同期比)については▲36・6となり、前回調査から10・6ポイント下降している。来期見通しにおいては17・8ポイント下降して▲54・4となっている。

原材料価格D I (前期比)については18・4となり、前回調査から12・6ポイント下降している。

販売価格D I (前期比)については▲3・2となり、前回調査から8・3ポイント下降している。

資金繰りD I (前期比)については▲27・2となり、前回調査から13・2ポイント下降している。

金融機関の態度D I (前期比)については▲3・4となり、前回調査から4・7ポイント下降している。

設備投資実施率については24・0%となり、前回調査から4・4ポイント下降している。業種別で高い実施率となったのは「金属・同製品(35・3%)」「窯業・土石製品(33・3%)」で、目的別では「品質向上」「増産」となっている。また、来期の設備投資計画率については23・2%となった。





設備操業率D I (前期比)については▲31・6となり、前回調査から19・4ポイント下降している。

なお、回収率は49・2% (調査対象500社のうち246社) で、平均従業員数は54・3人であった。







概況





### 紙・加工品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲34.7	▲50.0	▲68.8	▲84.4
<p>同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲68.8で、両方を合せたD I 平均値は▲68.8となり「雨」模様が続いている。来期見通しは15.6ポイント下降して▲84.4となり「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲68.8、収益性D Iは▲62.5となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲12.5、設備操業率D Iは▲68.8、設備投資実施率は6.3%となった。</p>			





### 木材・木製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲8.3	▲18.2	▲22.2	▲55.6
<p>同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲22.2で、両方を合せたD I 平均値は▲22.2となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは33.4ポイントの大幅下降で▲55.6となり「雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲22.2、収益性D Iは▲11.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは22.2、設備操業率D Iは▲11.1、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			





### 金属・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲15.3	▲32.9	▲47.1	▲58.9
<p>同期比の売上高D Iは▲50.0、収益性D Iは▲44.1で、両方を合せたD I 平均値は▲47.1となり「雨」模様が続いている。来期見通しは11.8ポイント下降して▲58.9となり「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲61.8、収益性D Iは▲48.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは「不足」・「過剰」ともに11.5で0.0、設備操業率D Iは▲37.0、設備投資実施率は35.3%となった。</p>			





### 窯業・土石製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲6.9	▲4.2	▲4.0	▲33.3
<p>同期比の売上高D Iは▲7.9、収益性D Iは「好転」・「悪化」ともに25.6で0.0、両方を合せたD I 平均値は▲4.0となり「曇」模様が続いている。来期見通しは29.3ポイントの大幅下降で▲33.3となり「雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲12.8、収益性D Iは▲14.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは29.4、設備操業率D Iは▲5.9、設備投資実施率は33.3%となった。</p>			

### プラスチック製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲6.7	▲18.2	▲25.0	▲60.8
<p>同期比の売上高D Iは▲14.3、収益性D Iは▲35.7で、両方を合せたD I 平均値は▲25.0となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは35.8ポイントの大幅下降で▲60.8となり「雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲28.6、収益性D Iは▲23.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲7.7、設備操業率D Iは▲15.4、設備投資実施率は28.6%となった。</p>			

### 機械・機器

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲16.0	▲35.3	▲36.5	▲59.6
<p>同期比の売上高D Iは▲28.1、収益性D Iは▲44.9で、両方を合せたD I 平均値は▲36.5となり「雨」模様が続いている。来期見通しは23.1ポイントの大幅下降で▲59.6となり「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲27.7、収益性D Iは▲40.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは1.8、設備操業率D Iは▲30.9、設備投資実施率は27.7%となった。</p>			